

# 玄海BOSAIキャンプ

1日目

## GRIPレクリエーション

1日目、初めにGRIPレクリエーションを行いました。はじめはとても緊張していましたが、個人や複数的人数で行うレクリエーションをしていくにつれて、チームの中で案を出し合う姿が増えてきました。少しずつ緊張もほぐれていき、チームの仲もより一層深まりました。



## 防災スタディタイム

防災の基礎的な知識を身に付けるため、「防災スタディタイム」を行いました。子ども達は、積極的にメモを取ったり、クイズに参加したりしていました。最後には、災害が身近に感じていなかった子も、いざ自分に起こったらどうしたらいいかを積極的に考える姿に変わっていききました。



# 避難所づくり

今回の防災キャンプでの寝床は、実際の被災地などでも使われている、段ボールを使ったシェルターでした。シェルターづくりでは風を通さないように作ったり、周りから見えないように作るなど、個性がとても出ていました。

それぞれが安心して過ごせるように、工夫しながら段ボールシェルターを作成していました。



# 防災グッズづくり

防災グッズづくりとして、ジャム瓶にティッシュとアルミホイル、オリーブオイルのみで出来る、ランタンを作りました。突然、電気がなくなった時の対処法として、身の回りにあるものでできるランタンを作ることができました。



# 防災クッキング

1日目の夜ご飯はサバ缶、トマト缶カレーと、ご飯は、お鍋の中に入れた水を沸かして、その中に水とお米が入った袋を入れて炊きました。今回の防災キャンプでは、実際に被災地で作るご飯と仮定して、限られた材料や道具を班の中で話し合い、少ない時間内で、身近な道具でも調理ができることを学びました。



## 2日目

### 防災クッキング (朝、昼、晩)

2日目の防災クッキングは、朝ご飯にビニールDEポトフ、昼ごはんはビニールで炊いた炊き込みご飯、夜ご飯はツナ缶&トマト缶パスタを作りました。レシピの調理過程の中でどうしたら時間短縮できるのかや、水の節約の仕方などを工夫して調理を行いました。1日目に学んだ道具の使い方を生かして、さらに効率よく調理できました。



### 防災スタディタイム

福岡県立社会教育総合センターの白石先生をお招きして講話をしていただきました。

能登半島地震の被災地に行って、支援を経験された被害状況や、支援の仕方などを実際に見て来た方のお話を聞いて自分たちが思っていたよりもさらに大変な状況に驚く姿もありました。講話を終えて、実際に自分たちに何が出来るのかを考え、どのような支援をされていたのかなど、積極的に質問して学ぶ様子が見られました。



# 避難所づくり ～アップグレード～

2日目にはもっと安心して寝ることができるように、1日目の夜に感じた寒さや過ごしやすさを改善するために避難所のアップグレードを行いました。1日でシェルターが崩れてしまった人は修理したり、周りの目が気になる人は、パーテーションを作りました。自分だけのスペースを上手に活用して、ストレスが少なく過ごしやすい場を作りました。



# 防災遊び

被災地で周りの人に迷惑をかけない遊びを子どもたち自身に考えてもらうために、「防災遊び」を行いました。周りにいろいろな人がいると仮定して、静かに遊べる遊びを各班ごとに考え、少しでも楽しくできるように一所懸命考え、遊びました。



# 夜間避難体験

災害は夜間にも起きると仮定して、子ども達にはあらかじめ何も伝えずに実施。レクリエーションをしている最中で、突如、緊急地震速報の音を流しました。子どもたちは暗い外を、少しの明かりを頼りに全員でまとまって避難することができました。



# 防災クッキング

3日目

朝ご飯はツナカレーホットサンドを作りました。ツナ缶とカレー粉、食パンのみを使い、とても簡単な料理を行いました。

3日間の中で最も調理器具を少なくして、限られた少ない時間の中でどうすれば効率よく調理することができるかを考え、最後に防災クッキングの集大成となりました。



# 自衛隊講話

自衛隊の方をお招きして、実際に石川県やその他の支援に行かれた際のお話をさせていただきました。講話の後は実際に自衛隊の車の見学を行い、とても夢中になっていました。子どもたちは自衛隊の車や支援活動にとても興味を持ち、きつかったことや、嬉しかったことなど沢山の質問をしていました。



# 炊き出し体験

実際に被災地で行っている炊き出しの雰囲気を経験するために、ご飯と豚汁を作ってくださいました。班に1人ずつ自衛隊の方と一緒に食事をしました。食事の場でも、「どんな場所で、どんなきつい状況で支援した？」など質問が絶えませんでした。炊き出しのことを知らない子も、実際の炊き出し体験に興味津々でした。



# 防災ゲーム

最後の活動は防災ゲームを行いました。  
防災カードゲーム「クロスロード」と木の棒と毛布のみで担架を作り、「担架リレー」を行いました。

クロスロードは想定された場面に対して自分とは違う意見も尊重するということを学ぶために、他の人の意見を否定しない事がルール。それぞれ、自分の意見をしっかり持つとともに、他人の意見にも大きくなずく様子が見られました。

担架リレーでは担架に椅子を3脚乗せて、体育館の往復を競争しました。正確でかつ安全に担架を作るために班のみんなで協力し早くなる方法を話し合いながら楽しくゲームをしました。

防災ゲームをこれからの日常生活につなげられるように、身の回りの物で出来ることや個人の意見より他人の意見を大切にすることが災害時にはとても役立つということを学ぶことができました。



## ・参加者の感想

- ・災害が今来るかもしれないと思うようになった。
- ・防災のことについて深く知ることができた。
- ・災害の話を聞いて身近なものだと実感した。
- ・臨機応変の判断が災害時には必要だと考えた。
- ・楽しく防災について学ぶことができた
- ・実際に家で段ボールベッドを作りたい。
- ・水の節約で、食器などをなるべく使わないようにしたい。

